

## 2. 火山の概況

(平成 16 年 5 月 20 日 ~ 平成 16 年 5 月 26 日)

浅間山では地震がやや多い状態が続いた。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 2。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。レベルは 2。

桜島では爆発があり、降灰があった。レベルは 2。

薩摩硫黄島では連続微動が発生した。



図 1 記事を記載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島	十勝岳	草津白根山	伊豆東部火山群	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号											
22	5/20-5/26	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲			●		●	●	●		
21	5/13-5/19	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●		●		●		●		
20	5/6-5/12	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	●			●		●		●		◇
19	4/29-5/5	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲		●	●	●	●	▲	●		▲
18	4/22-4/28	②	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	◇	●	●		●		●		▲

**注 1 記号の意味**

- ▲：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載した火山の、その後の状況等
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

**注 2** 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

● **浅間山 [地震・微動・噴煙・熱] レベル 2 (やや活発な火山活動)**

振幅の小さい地震は、昨年 6 月末頃からやや多く観測されるようになっており、今期間も 1 日あたり 26~61 回とやや多い状態が続いた。また、振幅の小さい火山性微動が 2 回観測された(前期間は 3 回)。

山麓の監視カメラでは、白色の噴煙が最高で火口縁上 500m 上がるのが観測された。

赤外線カメラ(群馬県林務部が火口縁に設置)では、引き続き火口底に高温部が確認された。

◇ **伊豆大島 レベル 1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● **三宅島 [噴煙・微動・地震]**

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、期間中の高さの最高は火口縁上 900m であった。

21 日夕方頃から約 30 分周期で連続微動の振幅が増大する現象が見られ、期間中継続して発生した。地震活動、噴煙活動にこの現象に伴う変化は特に見られなかった。同様の現象は、昨年 8 月及び 9 月、今年 3 月及び 4 月にも発生しており、いずれも地震活動、噴煙活動に特に変化は見られなかった。

振幅の小さいやや低周波の地震は、1 日あたり 24~58 回とやや多い状態で推移した。

● **阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)**

中岳第一火口では熱的な活動が引き続き活発で、小規模な土砂噴出が継続した。

21日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰色、湯量は約4割で、湯だまりの表面温度の最高は71℃(前期間72℃)、火口壁の最高温度は379℃(前期間414℃)と依然高温状態にあった。湯だまり中央部で高さ約5mの、その他数ヶ所で高さ2～3mの土砂噴出が観測された。

期間中、火山性微動は連続して観測された。また、孤立型微動は今期間570回発生し(前期間は572回)、依然としてやや多い状態が継続している。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上300m(前期間400m)であった。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ **雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)**

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● **霧島山 [噴気]**

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いており、26日に御鉢の火口縁を越える噴気が遠望カメラで観測され、その最高は火口縁上100mであった。

▲ **桜島 [爆発・噴火・降灰] レベル2 (比較的静穏な噴火活動)**

期間中、噴火が6回あり、その内2回は爆発であった(前期間は噴火が3回、その内爆発が2回)。期間中の噴煙の高さの最高は、24日19時03分の爆発に伴うもので火口上1300m(灰白色)であった。

23日に鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰量1g/m<sup>2</sup>(22日09時～23日09時の総降灰量)を観測した。鹿児島地方気象台で降灰を観測したのは、昨年11月19日以来である。

● **薩摩硫黄島 [微動・地震]**

期間中、噴火は発生しなかったが、連続的な火山性微動が22日～24日及び24日～25日に発生し、継続時間の短い火山性微動が20日に5回発生した(前期間は微動の発生はなし)。地震の発生回数は94回とやや増加した(前期間は43回)。

● **口永良部島 [地震・微動]**

地震の発生は、2月2日に多発して以降増減を繰り返しており、期間中の合計は6回と前期間(29回)に比べ減少したが依然としてやや活発な状態にある。火山性微動は1回発生した(前期間はなし)。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
三宅島	火山観測情報第278号	20日09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	↓(1日2回発表) 火山観測情報第291号	↓ 26日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第29号	21日11:00	火山活動は引き続きやや活発(孤立型微動やや多い、微動連続状態、小規模な土砂噴出多数発生、湯だまりの高温状態継続)。レベルは2。